

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	中学校管理費
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	35,143	44,870		40,580		25	40,605	5,462
財源内訳	国	1,260	1,656	1,656			1,656	396
	県							
	市債							
	その他	450	490	739		▲ 207	532	82
	一般財源	33,433	42,724	38,185		232	38,417	4,984

事業概要	電気・空調設備保安業務、浄化槽維持管理、消防設備保守点検など、中学校施設の維持管理を行うための経費や、各校に1名配置している学校主事の人件費などを予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	施設の適切な維持管理を行うことで、生徒に快適な教育環境を提供する。		
現状と背景	中学校は市内に3校(第一、第二、第三)ある。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	中学校備品整備事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	1,302	1,146		1,146			1,146	▲ 156
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	1,302	1,146		1,146		1,146	▲ 156

事業概要	パソコン等教育活動に必要な備品を購入し、生徒への適切な学習指導を行っている。施設備品の購入費を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	老朽化した備品の取替えや新たに必要となった教育備品を購入することで、生徒により良い学習環境の場を提供する。		
現状と背景	既存教育備品の老朽化が著しいため、学校現場からは買い換えをなどを要望する声大きい。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	中学校施設整備事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	4,790	3,900		4,576			4,576	▲ 214
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	4,790	3,900		4,576			4,576

事業概要	中学校施設の整備のため、工事費、修繕料を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	中学校施設は、生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であることから、危険箇所等の工事、修繕を早急に行い、快適で十分な安全性、衛生的な環境を確保する。		
現状と背景	第一中学校は23年度に耐震補強、大規模改修、冷暖房改修、第二中学校は24、25年度の2ヶ年で校舎の改築等、第三中学校は冷暖房改修を24年度からの繰り越しで今年度実施と環境改善を図っているが、細々とした修繕や設備関係等に係る費用が必要となっている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	中学校少人数学級実施事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	8,000	6,000		6,000			6,000	▲ 2,000
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	8,000	6,000		6,000			6,000

事業概要	鳥取県では中学1年生の33人学級、2～3年生の35人学級を国に先駆けて実施しており、2～3年生における加配教員の人件費相当の1/2を協力金として鳥取県に支払っている。	今年度見直し事項	
事業目的	小学校から中学校へあがってきて不安を抱えている新一年生の33人学級、2～3年生の35人学級を実施することにより、生徒1人1人に教員の目が行き届き、きめ細かな対応が可能となり、学力の向上、不登校の抑止を行う。		
現状と背景	平成20年度から中学校でも少人数学級に取り組んでいる。環境の変化や思春期により不登校になりやすい生徒1人1人にきめ細やかな対応が可能となり、実施以前と比べると生徒1人1人の落ち着きが増している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	中学校指導補助員配置事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	6,264	6,264		6,264			6,264	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	6,264	6,264		6,264			6,264

事業概要	学力問題や心の問題をはじめ、LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)生徒等、特別な支援が必要な生徒に対して、各学校に2名の指導補助員を配置する。指導補助員の人件費を予算化している	今年度見直し事項	
事業目的	指導補助員を配置することで、特別な支援が必要な生徒への個別的な学習支援、補助が可能となる。		
現状と背景	これまでは各中学校に1名ずつ指導補助員を配置していたが、平成21年度より緊急雇用制度を活用し、現在各校2名体制として。緊急雇用制度は終了したが、学校現場からのニーズも高く、特別な支援が必要な生徒の数も年々増加している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	第二中学校改築事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	897,797	1,211,324		1,062,484		▲ 401	1,062,083	164,286
財源内訳	国	207,767	331,653	341,849			341,849	134,082
	県							
	市債	520,000		535,800			535,800	15,800
	その他							
	一般財源	170,030	879,671	184,835		▲ 401	184,434	14,404

事業概要	老朽化の著しい第二中学校(昭和32~36年建設)校舎の改築及び冷暖房改修工事を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	中学校施設は生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であることから、校舎の改築を実施することにより、快適で十分な安全性、衛生的な環境を実現する。		
現状と背景	昭和32年から36年にかけて建設された市内で最も古い学校であり、平成19年に実施した耐震診断でも耐震化の緊急度が一番高いと判定されている。21年度に基本構想、22年度に改築の基本設計と土地の買収、23年度に実施設計及び拡幅分のグラウンド整備を実施し、24年度から校舎改築工事を進めている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	中学校グラウンド芝生維持管理事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	276	258		258			258	▲ 18
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	161						▲ 161
一般財源	115	258		258			258	143

事業概要	第一中学校の校庭の芝生を、PTAをはじめ地域の方々を中心にボランティアとして維持管理していただく。維持管理に必要な肥料、芝刈り機の燃料費および修繕費、冬芝種等の経費を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	第一中学校の校庭の芝生を、PTAをはじめ地域の方々を中心にボランティアとして維持管理していただくために維持管理費として必要な肥料、芝刈り機燃料および修繕費、冬芝種等の経費を予算化している。		
現状と背景	平成20年度に実施した誠道小学校の校庭芝生化を受け、第一中学校で22年度に芝生化を実施した。維持管理については、保護者・地域と学校・市教委で明確に役割分担し、実施している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	第二中学校体育館改修事業
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	2,266	38,912		38,937		▲ 38,937		▲ 2,266
財源内訳	国		6,331	6,331		▲ 6,331		
	県							
	市債			11,300		▲ 11,300		
	その他							
	一般財源	2,266	32,581		21,306		▲ 21,306	

事業概要	第二中学校体育館の老朽化に伴う改修工事	今年度見直し事項	
事業目的	第二中学校体育館の老朽化に伴う改修工事		
現状と背景	第二中学校体育館が老朽化しており、改築工事と合わせて体育館の屋上防水、外壁改修、床面改修工事を行う。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	第二中学校校舎解体事業
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	6,997	127,681		127,681			127,681	120,684
財源内訳	国					114,913	114,913	114,913
	県							
	市債			95,700		▲ 95,700		
	その他					207	207	207
一般財源	6,997	127,681		31,981		▲ 19,420	12,561	5,564

事業概要	第二中学校改築事業に伴い、新校舎建設後に既存校舎を解体・撤去する。	今年度見直し事項	
事業目的	第二中学校改築事業に伴い、新校舎建設後に既存校舎を解体・撤去する。解体・撤去跡地にはテニスコート、駐車場等を整備し、教育環境を充実させる。		
現状と背景	H24:設計 H25:工事	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	第一中学校理科室実験台整備事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		2,636						
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		2,636					

事業概要	老朽化が激しい第一中学校第1理科室の実験台を更新する。	今年度見直し事項	
事業目的	当該実験台は昭和58年に設置しており、老朽化が激しく、規格も小さいため使用しづらいので、実験台を更新する。		
現状と背景		その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	第二中学校新校舎移転事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		23,060		19,272			19,272	19,272
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他					10,122	10,122	10,122
	一般財源		23,060		19,272	▲ 10,122	9,150	9,150

事業概要	第二中学校新校舎完成に伴い旧校舎から新校舎への移転に係る備品購入及び移送費用を計上する。	今年度見直し事項	
事業目的	新校舎の完成に伴う備品の購入とパソコン教室やピアノ等の移送のための費用を予算化する。		
現状と背景	既存校舎で使用している備品を原則新校舎でも使用するが、老朽化のため新規購入が必要なもの、会議室等の増設のために必要な机椅子等がある。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	第二中学校外構等工事
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		136,297						
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		136,297					

事業概要	第二中学校校舎改築工事後に、旧校舎を解体した跡地に駐車場、テニスコート等を整備する。	今年度見直し事項	
事業目的	第二中学校新校舎建設後に、旧校舎を解体した跡地に駐車場、テニスコート等を整備し、安全で快適な学校環境を創造する。		
現状と背景	現在のテニスコート(3面)は、グラウンドの隅にあり、水はけが悪く、1面は使用ができない状態である。職員駐車場も狭く、生徒の出入りがある校舎の近くなどに駐車している。	その他	